

令和 5 年度事業報告書 <デイサービスセンターいこい・ほほえみ>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：利用者、家族から親しまれ、頼られる施設づくり

1. 本人の思いに寄り添い、その人らしく生き生きと安心して過ごせるよう支援する

①意思疎通困難な方や行動障害のある方へ寄り添い、想いに合わせて対応することで落ち着いて過ごして頂く事ができた。利用者の相性を把握して居場所に配慮し、安心できる環境作りに努めた。

②ミーティングを通して、利用者の心身状態、家族の状況、アプローチの評価など、情報を共有することでケアの統一ができた。

③利用者の ADL や IADL を確認し、できることを促しながら残存機能を、引き出すことができた。

また、専門職と連携し、リハビリプログラムを実施することができた。

2. 利用者の定着を図り、稼働率アップを目指す

①一般型デイと常時情報交換を行い、一般型利用者で認知症があり、コミュニケーションが難しく対応が困難な方は、家族・ケアマネと相談して個別関わりにより、認知症の進行を穏やかにするべく認知症型デイを紹介し検討して頂いた。結果、6 名の方が移行し、月平均 100 名増の稼働率アップに繋げる事ができた。また、認知症の進行レベルに合わせて、フロアの空間を 3 つ（軽度者、少数、個別）に分けて、ご利用者が多い日であっても過ごしやすいよう、居場所を配慮し、落ち着いて過ごして頂く事ができた。

②ケアマネとの連携を密にし、本人や家族のニーズに柔軟な対応することができた。また、ご家族には送迎時や連絡帳で細かな状態の変化を報告し、信頼関係を築くことができた。

3. 地域にアピールする機会の促進

①「あいあい祭り」は開催がなく、地域交流の場に参加することはできなかったが、梶地区の祭りでお神輿が来た際、利用者が地域の方と交流することができた。コロナが 5 類となり、感染対策を行い、行事や外出をすることができた。また、4 年振りに関わり方を変えて鍋会を開催し、利用者喜んで頂けた。外出ではゆりの里公園やひまわり畑を見学、三国祭りの山車見学や初詣など気分転換を図り、楽しんで頂けた。

石川県能登半島地震後、災害派遣の依頼を受け、職員一名が金沢市の 1.5 避難所へ 5 日間（3 日連続夜勤）のボランティア活動に参加し、被災者の方の支援活動に協力できた。

②運営推進会議には 2 カ月に一度参加し、事業所の活動内容について写真を交えて報告する。また、出席された地域の方々からのご意見を頂き、事業活動に反映ができた。